

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第1年度分

1 事業所の概要

| | | | |
|--------------------|--|---------------------|--|
| 事業者の名称 | ENEOS株式会社 | | |
| 事業所の名称 | ENEOS株式会社 仙台製油所 | | |
| 事業所の所在地 | 宮城県仙台市宮城野区港5-1-1 | | |
| 主たる事業 | 石油製品・石炭製品製造業 | | |
| 事業者の該当要件 | ○ | 条例第2条第5号イに該当する特定事業者 | |
| | | 条例第2条第5号ロに該当する特定事業者 | |
| | | 条例第2条第5号ハに該当する特定事業者 | |
| | | 条例第15条第1項に該当する一般事業者 | |
| 温室効果ガス排出抑制のための基本方針 | <p>グループ環境方針の一つとして「脱炭素社会形成への貢献」を掲げ、「カーボンニュートラル基本計画」を策定し、「製造・事業の効率化（省エネ・燃料切替・再エネ活用など）」を具体策として諸施策を推進している。</p> <p>仙台製油所では『環境負荷の低減』を事業計画として策定し、①廃棄物の分別回収の徹底および再資源化の更なる推進、②装置非定常時の排出ガス管理強化などを推進している。</p> <p>また国際競争力強化の一環として、設備投資を含む省エネ推進を事業計画に定めている。</p> | | |

2 温室効果ガスの排出状況等 ※「温室効果ガスの排出状況」における()内は、SHK制度の改正（2024年4月1日施行）による増減を加味した値

| | | | | | | |
|---|-------------------|--|----------|---|------------------|----------------------|
| 温室効果ガスの 排出状況 及び削減目標 ・ 非化石エネルギー の 使用割合目標 | 基準年度 | 2022年度 | 基準排出量 | 917,901 t-CO ₂ | 基準原単位 | 17.73 |
| | 目標年度 | 2025年度 | 目標排出量 | 905,928 t-CO ₂ | 目標原単位 | 14.1 |
| | | | 削減率 | 1.30 % | 削減率 | 20.47 % |
| | | 非化石エネルギーの 使用目標割合 | 非化石電気 | 0.00 % | その他非化石 エネルギー等 | 0.00 % |
| 温室効果ガスの 排出状況 | 第 1 年度 | 2023年度 | 排出量 | 928,342 t-CO ₂ (1,283,346 t-CO ₂) | 排出原単位 | 17.03 (23.54) |
| | | | 削減率 | -1.14 % (-39.82 %) | 削減率 | 3.94 % (-32.77 %) |
| | | 非化石エネルギーの 使用割合 | 非化石電気 | -0.01 % (-0.01 %) | その他非化石 エネルギー等 | 1.68 % (1.43 %) |
| | 排出量等の 増減理由 | 【温室効果ガス排出量の増加】 2022年度対比で装置が高稼働であったため燃料消費量が増加したことに加え、改正温対法施行令 および算定省令に従い、水素製造に伴い副生する二酸化炭素、接触分解装置および接触改質装置 で使用された触媒に析出する炭素の燃焼により生じる二酸化炭素を新たに計上対象としたことに よる。 【非化石電気の使用割合】 今回より事務所建屋上の太陽光発電分を計上しているが、自家発電による売電量が大きく所全 体の電気の実使用量がマイナスとなるため、使用割合もマイナスとなっている。 【その他非化石エネルギー等の使用割合】 自家発電の燃料に供した水素(接触改質装置からの副生水素)を非化石燃料に計上することとし た。 | | | | |
| | | 2024年度 | 排出量 | t-CO ₂ t-CO ₂) | 排出原単位 | |
| | | | 削減率 | % (%) | 削減率 | % (%) |
| | 非化石エネルギーの 使用割合 | 非化石電気 | % (%) | その他非化石 エネルギー等 | % (%) | |
| | 排出量等の 増減理由 | | | | | |

| | | | | | | |
|--|---------------|-------------------|-------|--|------------------|--------|
| | 第 3 年度 | 2025 年度 | 排出量 | t-CO ₂ t-CO ₂) | 排出原単位 | |
| | | | 削減率 | %) | 削減率 | %) |
| | | 非化石エネルギーの 使用割合 | 非化石電気 | %) | その他非化石 エネルギー等 | %) |
| | 排出量等の 増減理由 | | | | | |

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

| | | | | |
|-----------|------|------|----------|-----------------------|
| 基本対策の実施状況 | 基準年度 | 96 % | 目標年度 | 96 % |
| | 第1年度 | 96 % | 実施状況の説明等 | 基本対策の実施状況は基準年度から変更なし。 |
| | 第2年度 | % | 実施状況の説明等 | |
| | 第3年度 | % | 実施状況の説明等 | |

| 選択対策の実施状況 | 項目 | 実施状況 |
|-----------|--------------------------|------|
| | 外部機関による省エネ診断 | 実施済 |
| | 生産性管理 | 実施済 |
| | エネルギー使用量の見える化（前年度比較） | 実施済 |
| | エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見） | 実施済 |
| | ボイラーの運転効率管理 | 実施済 |
| | ボイラーの給水及びブローの管理 | 実施済 |
| | 蒸気トラップの管理 | 実施済 |
| | 熱源設備 冷却水温度の適正管理 | 実施済 |
| | 熱源設備 冷却水の水質管理 | 実施済 |
| | 圧縮空気系統の保全管理 | 実施済 |
| | ポンプ、給水系統の保全管理 | 実施済 |
| | ファン、ブロワ、給気系統の保全管理 | 実施済 |
| | 変圧器の負荷率管理 | 実施済 |
| | デマンド管理 | 実施済 |
| | 負荷平準化 | 実施済 |
| | 再生可能エネルギーの導入 | 実施済 |

| その他の対策の 実施状況 | 項目 | 具体的な取組内容 | 実施状況 |
|-----------------|---------------------|---|------|
| | 環境マネジメントシステムの導入 | 当製油所は、意図した成果を達成するために、当製油所の状況（外部・内部の課題、利害関係者のニーズや期待等）を考慮し、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルを確立することにより、継続的な改善を目指す。 | 実施済 |
| | 廃棄物削減対策の実施 | 廃アルカリ処理およびメイクアップ量削減による廃棄物払い出し量の削減 凝集剤変更に伴う排水汚泥の発生量削減 | 未実施 |
| | 森林の保全・緑化の推進 | 年に3回、植栽や伐採など森林保全活動を実施 | 実施済 |
| | グリーン調達の実施 | 「グリーン調達推進要領」に基づき、グリーン購入推進に資することを目的として、「グリーン購入に関する購買指針」を定めている。 また、毎年グリーン購入の周知教育を行っている。 | 実施済 |
| | 計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減 | 2015～2019年度にかけて省エネを目的とした改善投資により、38,000 t-CO ₂ /年の温室効果ガスを削減した。 第一計画期間にあたる2020～2022年度にかけては同様の改善投資により6,520 t-CO ₂ /年の温室効果ガスを削減した。 | 実施済 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |